

令和 5 年度 研究紀要 第 241 号

《 研究主題 》

個別最適な学びと協働的な学びの 実現に向けた授業づくり ～3年次～

- (1) ICT を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学び
- (2) 授業と家庭学習の連動
- (3) 個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて (Q&A 形式)



胆振教育研究所



この紀要は、「本研究所のいのち」です

胆振教育研究所 所長 野 崎 均

本研究所は、大きく2つのことに取り組んでいます。

そのひとつが、委託校・実践校への学校訪問です。教員である所員が直接学校を訪問し、実際に各校の研究に参加して一緒に学ばせていただいています。この取組は道内唯一と聞いています。

もうひとつが、研究所自体の研究です。その時代時代の要請に応じて、例えば「〇〇という学びはどうあるべきか」とテーマを決めて、多くの場合、3年計画で理論研修を重ねます。

実はこのふたつは、表裏一体です。

学校訪問を通して各校の状況を的確に把握できるからこそ、研究所として研究をする内容が決まっていきます。そうして進められた研究はもともと管内の学校に端を発する内容ですから、学校訪問で所員が紹介することで、各校の研究がより高まりやすくなります。

さらに、所員は管内の各校に所属する教員です。当然そうした研究内容に基づいて、それぞれの教える教室で実践を重ね、それぞれの学校で研修を進めていきます。

こうして、「胆振管内の教育の進展に寄与する」という本研究所の目的に、74年間、迫ってきました。

この紀要には、こうした背景があります。子どもの確かな学びを模索し続けた胆振の先輩方の遺伝子が、受け継がれています。だから、「本研究所のいのち」と言っても過言ではないものですし、そうした覚悟で作ったものです。

委託校・実践校の皆様や、寄稿していただいた先生方と、私たち所員が、種をまき、芽を育てて実を結ばせた紀要です。今年の出来はいかがでしょうか。どうぞお確かめください。

もくじ

巻頭言

胆振教育研究所 所長 野 崎 均

I 研究の構想

- 1 研究主題 1
- 2 研究主題設定の理由 1
- 3 研究内容 2
- 4 研究の全体構造 2

II 研究内容

- 1 ICT を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学び 3
 - ・各教科における実践事例 5
- 【コラム】 学びを支える様々なアプリ 7
- 2 授業と家庭学習の連動 8
 - ・ICT 端末を活用した家庭学習の実践事例 11
 - ・個別最適化された家庭学習の実践事例 15
- 3 個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて (Q&A 形式) 17
- 【コラム】 これからの教師に求められる資質・能力とは 21

III 研究のまとめ

- ・3年間の研究を振り返って 22
- ・参考資料、研究・執筆 23
- ・あとがき 24

I 研究の構想

1 研究主題

個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり

2 研究主題設定の理由

(1) 教育改革の動向より

Society5.0時代が到来し、社会は大きく変化しています。これからの学校には、一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められています。

そのために必要な資質・能力を育むためには、学習指導要領の着実な実施が重要です。現行学習指導要領では、資質・能力が「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱に整理されました。学びの量とともに、質や深まりが重要であり、児童生徒が「どのように学ぶか」という主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が急務となっています。

私たち教員は、このことを踏まえて、全ての児童生徒の可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくりを推進することが求められます。

(2) 研究所の研究から

令和2年度の本教育研究所の理論研究「主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり」から、次のようなことがわかりました。

- 胆振管内の多くの学校で、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくりに向けた取組ができた。
- 単元デザイン例を作成することにより、指導計画と学びの実践ポイントを明確にすることができた。
- 今後、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が重要になる。

胆振管内の小・中学校が、どの教科・領域においても児童生徒の多様な興味を引き出し、学びを提供できるように、先進的な実践や各学校での具体的な取組を交え、研究を深めていくことが大切だと考えます。

3 研究内容

- ・ 個別最適な学びと協働的な学びとは
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの授業改善
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びを促進する ICT の活用について

4 研究の全体構造

【教育活動の動向（児童生徒の課題）】

- ・ 自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値のある存在として尊重することが求められている。
- ・ 様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる資質・能力の育成が求められている。

【研究所の研究から】

- ・ 胆振管内の多くの学校で、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくりに向けた取組ができた。
- ・ 単元デザイン例を作成することにより、指導計画と学びの実践ポイントを明確にすることができた。
- ・ 今後、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が重要になる。

【研究主題】

「個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり」

【研究仮説】

令和の日本型学校教育の構築を目指して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実についての共通認識のもと、授業と家庭学習の連動を図ることや、全ての教科・領域において ICT 等を活用した授業づくりを行うことにより、個別最適な学びと協働的な学びの実現ができるだろう。

【1年次】理論研究の基礎・基本

- ・ 学習指導要領の趣旨
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びのおさえ
- ・ ICT の活用に関する基本的な考え方

【2年次】理論研究に基づく実践研究

- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの授業改善
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの具体的な実践について
- ・ 各教科における個別最適な学びと協働的な学びのポイント

【3年次】理論研究のまとめ

- ・ ICT を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学び
- ・ 授業と家庭学習の連動を図る実践について
- ・ 研究のまとめ

Ⅱ 研究内容

1 ICT を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学び

令和4年度の胆振教育研究所の理論研究「個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり（2年次）」において、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が、児童生徒の主体的・対話的で深い学びにつながると述べてきました。個別最適な学びと協働的な学びを効果的に行うツールとなるのがICT（端末）です。

令和3年中央教育審議会答申では、「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用に関する基本的な考え方として、次のように示されています。

- ◆「令和の日本型学校教育」を構築し、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びを実現するためには、ICTは必要不可欠
- ◆これまでの実践とICTを最適に組み合わせることで、様々な課題を解決し、教育の質の向上につなげていくことが必要
- ◆ICTを活用すること自体が目的化しないよう留意し、PDCAサイクルを意識し、効果検証・分析を適切に行うことが重要であるとともに、健康面を含め、ICTが児童生徒に与える影響にも留意することが必要
- ◆ICTの全面的な活用により、学校の組織文化、教師に求められる資質・能力も変わっていく中で、Society5.0時代にふさわしい学校の実現が必要

1人1台端末が各校に整備されて3～4年が経過しました。多くの学校で日常的な活用が定着し、効果的に活用する方法を考える段階に入ってきているのではないかと思います。



では、ICTを「**効果的に**」活用するとは、具体的にどのようなことを指すのでしょうか。初等教育資料 2021 年 12 月号に寄せられた、文部科学省初等中等教育局教育課程課 GIGA stuDX 推進チームによる、「1 人 1 台端末等の効果的な活用」の解説の中では、ICT の活用の特性や強みについて次の 3 点が述べられています。

(1) 多量で大量の情報の取扱いができ、容易に試行錯誤ができる。

→ ・インターネットによる情報収集

・表計算ソフトによるデータ等の整理・分析やグラフ作成 など

(2) 時間的制約を超えた情報の蓄積、過程の可視化を行える。

→ ・写真や動画の撮影・保存による学習過程の可視化

・クラス管理ソフトを活用した児童生徒のつまずきや伸びについての教師の見取り など

(3) 空間的制約を超えた相互かつ瞬時の情報の共有（双方向性）ができる。

→ ・他の学校、地域、海外との交流など、距離が離れた場をつないだ学習

・他者との意見共有、比較検討、合意形成やアイデアの創出、発表資料等の協働制作 など

こうした ICT の特性や強みを理解した上で、授業内に適切に組み込むことにより、児童生徒の資質・能力を育成することができれば、「効果的に」活用できたと考えられます。

私たち教員は、ICT がこれからの教育に不可欠であることをあらためて認識し、個別最適な学びと協働的な学びを促進するツールとなる ICT の活用について試行錯誤を繰り返し、今後も一層の授業改善に努めていく必要があります。

胆振教育研究所では、毎年胆振管内の様々な学校を訪問し、優れた授業実践を参観させていただいています。次ページから、ICT を効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学びの実践について、教科別に紹介させていただきます。



令和 4 年度 研究紀要

なお、各教科における授業デザインのポイントについては、胆振教育研究所が令和 4 年度に発行した研究紀要 第 238 号内においてまとめておりますので、ぜひご参照ください。(左の QR コードを読み込むとご覧になれます。)

各教科における実践事例

伊達市立伊達小学校 佐藤 将太郎 先生の実践

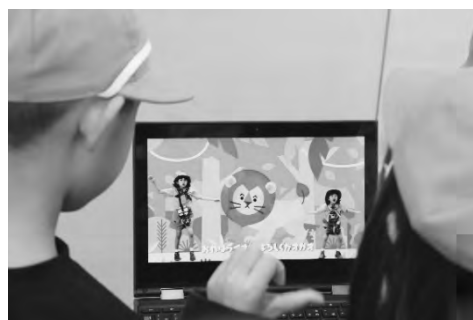
学年・教科	小学2年 体育科
単元（教材）名	表現遊び 「どうぶつになりきっておどろう！」
単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表現遊びの行い方を知り、身近な動物や生き物になりきって踊ることができるようにする。 ・題材の特徴ある動きを捉えて、跳ぶ、回る、ねじる、這う、すばやく走るなどの全身の動きで踊ることができるようにする。 ・題材の特徴的な様子を選んだり、それにふさわしい動きを見つけたり、友達の動きを取り入れたりすることができるようにする。 ・運動遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

【個別最適な学びの場面】

本単元は、動物の動きに着想を得た動きを個人で考え、それをグループ内で交流しながら、曲に合わせた踊りを考える学習です。個々で動物の動きのイメージを豊かに膨らませられるよう、

- ・導入場面で「まねっこゲーム」や「猛獣狩りゲーム」に取り組みさせる。
- ・同じ動物でも、イメージする動きは人によって異なることを理解させる。
- ・ヒント動画をスクールタクトで配信する。

などの工夫が見られました。



【協働的な学びの場面】

グループ活動の場面では、タブレットを活用し、練習の様子を自分たちで動画撮影していました。自分たちの踊りを客観的に見て、改善につなげていました。

また、完成した踊りも動画撮影し、学年全体で共有を図りました。互いに評価し合う活動を通してよさを再認識したり、活動意欲につなげたりしていました。

なお、この授業を実施した時期にインフルエンザが流行し、学級閉鎖や欠席者が相次ぎましたが、タブレットの持ち帰りを行ったため、欠席の児童も家庭で踊りの動画を見たり、評価コメントを付けたりとすることができました。



体育・保健体育科では、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現することを目指し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力を育成します。

本単元では、タブレットで撮影した自分たちの練習を視聴することで課題を明確にして、個人の思考と他者の視点を組み合わせながら、集団で解決に向かうことができました。

以下、ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの授業実践を、右のQRコードより紹介させていただきます。ご協力いただいた先生方に心より感謝申し上げます。



- ①伊達市立光陵中学校 藤田 佳嗣 先生の実践
中学1年 国語科 「『不便』の価値を見つめ直す」
～「Canva」のスライドや字数カウント機能を使って、要約文を書きました。
- ②登別市立緑陽中学校 森山 翔太 先生の実践
中学3年 社会科 「人権と日本国憲法」
～「Jamboard」を使い、互いに考えを比較検討し、グループの考えをまとめました。
- ③安平町立追分中学校 中村 玲 先生の実践
中学1年 理科 「動物の分類」
～基本的な動物の分類を、グループで「Jamboard」を活用して行いました。
- ④登別市立鷺別小学校 犬塚 翔 先生の実践
小学1年 生活科 「きせつと なかよし あき」
～生き物を観察したり調べたりする際の、効果的な端末活用の授業実践です。
- ⑤登別市立鷺別小学校 菊池 康裕・南川 哲郎 先生の実践
小学6年 図画工作科 「ここから見ると」
～端末のカメラ機能を使い、校内を回って、自分のイメージに合う場所を検討しました。
- ⑥登別市立緑陽中学校 永井 久 先生の実践
中学2年 家庭科 「作って楽しい布作品」
～被服実習を行う際、生徒の学習進度に対応するための工夫を行った授業実践です。
- ⑦伊達市立東小学校 堀 千佳子 先生の実践
小学3年 外国語活動 「Unit6 ALPHABET」
～児童の主体的な学びを促進するための、「スクールタクト」を活用した授業実践です。
- ⑧登別市立登別小学校 大野 周一 先生の実践
小学5年 特別の教科 道徳 「おおきに、ありがとう」
～話し合いへの意欲喚起や考えの共有のため、「Google Form」「Google スライド」を使用しました。
- ⑨伊達市立光陵中学校 柴田 敬 先生の実践
中学2年 総合的な学習の時間 「宿泊研修まとめ学習」
～「Canva」の機能を生かし、スライドで研修のまとめを作成しました。
- ⑩伊達市立伊達小学校 岸 拓史 先生の実践
小学4年 自閉症・情緒障害特別支援学級
外国語活動 「Unit7 What do you want?」
～特別支援学級での指導における、児童の発達特性を踏まえたタブレット活用の実践です。

コラム：学びを支える様々なアプリ

GIGA スクール構想により各校に一人一台端末が配備されました。しかし、各自治体のハードやソフトでしか使えない機能に依存していると、ICT を活用した教育技術が他の自治体の先生に共有できないという課題も生じています。

そこで、このコラムでは、「①契約なしに無料で使える」「②基本的にアプリをダウンロードしなくても使える」「③発達段階を問わず使える」アプリを紹介します。（注：令和6年1月現在の情報です）



(カフート)

多肢選択問題を作成することができます。回答時には正確性や速さが問われるため、児童生徒の意欲を引き出すことができます。

<https://kahoot.it/>



(パドレット)

ひとつの画面に複数で文字を書いたり写真を貼り付けたりできるツールです。グループワークやアイデアを出し合う活動などに適しています。

<https://ja.padlet.com/>



(キャンバ)

画像やフォントを生かしたパンフレット制作に有効です。見出しや背景を豊富なテンプレートから選択できます。

<https://canva-ed-jp.my.canva.site/canva-for-education/>



(フリップ)

自撮りでの映像や音声をクラス専用ルームにアップロードし、お互いに見合ったり、コメントやステッカー等でお互いに評価したりすることができます。

<https://info.flip.com/en-us.html>



2 授業と家庭学習の連動

児童生徒がこれからの時代を生きていく力として、自ら学び続けていく力を身に付ける必要があります。そのためには、学校での学習指導の充実と家庭学習の習慣化が不可欠であり、独立して行うのではなく、一体的に取り組むことでさらなる効果が期待できます。

家庭学習には、学習内容の定着を図る「宿題」としての側面と、自分で学習課題を見付け学び続ける力を育てる「自主学習」としての側面があります。義務教育9年間を見据え、児童生徒の発達段階に応じて、宿題の取組に加えて、自分に必要な学習内容を考える自主学習を取り入れ、段階的に質や量の充実を図ることが大切です。

加えて現在、自宅等の学習においても、ICTの活用が求められています。令和4年3月3日の文部科学省通知「GIGA スクール構想の下で整備された学校における1人1台端末等のICT環境の活用に関する方針について」では、家庭におけるICT端末の活用の有効性について次のように示されました。

2. 運営支援

(4) 持ち帰ったICT端末等を活用した自宅等での学習

- 感染症の影響による臨時休業等の非常時における児童生徒の学びの継続の点からも、端末を持ち帰り、自宅等での学習においてもICTを活用することは有効であること。
- 各学校設置者等においては、「やむを得ず学校に登校できない児童生徒等へのICTを活用した学習指導等について」(令和4年1月12日付け事務連絡)を踏まえ、児童生徒への適切な活用の指導やルール設定など、ICT端末の持ち帰りを安全・安心に行える環境づくりに取り組むことが必要不可欠であること。
- 平常時から、持ち帰った ICT 端末等を活用した自宅等での学習を行うことは、家庭学習の質を充実させる観点や、臨時休業等の非常時における学びの継続を円滑に行う観点からも有効である。その際には、児童生徒が様々な場所や場面で端末を活用しながら主体的に学べるよう、学校設置者が事業者等と締結する管理運用面の契約内容も含め、ICT 端末の持ち帰りを安全・安心に行える環境づくりに取り組むとともに、端末の管理の在り方や学習目的・内容を明確にして児童生徒・保護者と共有することが重要であること。

※文部科学省「GIGA スクール構想の下で整備された学校における1人1台端末等のICT環境の活用に関する方針について(通知)」令和4年3月3日 より抜粋

個別最適な学習と協働的な学習の推進という視点から見ても、家庭学習の充実は大変有効です。家庭学習を授業の一部と位置付けることにより、授業と家庭学習につながりが生まれます。

児童生徒は個別で学習できる内容を家庭学習で行うことで、授業では十分な時間を使って協働的な学習を行うことができます。

授業と連動させた、ICT 端末を活用した家庭学習のアイデアを以下に紹介します。

○OAI ドリルで個に応じた練習問題に取り組む。

→知識・技能の定着に大変有効です。全員一律の内容ではなく、個に応じた練習問題は意欲につながります。

○授業の振り返りを記入する。

→学習の成果を自覚させる「振り返り」の活動を家庭で行うことで、さらに自己変容を期待できます。その際、記入した振り返りをクラス全体で共有できるようにしたり、蓄積できるようにしたりするとより効果的です。

○授業内容を動画で振り返る。

→授業に関する動画で内容の定着を図ります。それぞれの学校で活用している会社のサービスのものや、「NHK for School」や民間企業のものなど、無料で見られる様々な動画があります。

○デジタル教科書を活用する。

→教材文を読んだり、課題を把握して予想したりします。デジタル教科書の多様かつ何度でもやり直しできる機能を生かし、直接書き込んだり、実際に問題に取り組んだりといった学習も可能です。

○授業に使用する写真や動画を撮影・準備する。

→事前にインターネットで調べたり、カメラ機能を使って撮影したりして、授業に必要な素材を個々に集めます。

○計算ソフトで家庭学習計画表を作成し、記録する。

→学習の予定や家庭学習の取組時間などが手軽に記録できます。計画的に取り組むことで、自己の学習を調整する力も身に付きます。

○動画教材を視聴したり、資料を読み取ったりする。

→次の授業に役立つ動画や、活用する資料などを事前に見ます。気が付いたことや疑問を見つけて書き込むことで、授業の導入にスムーズにつながられます。

○探究的な内容に取り組む。

→授業で興味関心を抱いたことをさらに広げる、深める学習に取り組みます。その際、ICT 端末を活用することで、学び方・調べ方の選択肢は一気に広がります。



宮沢賢治の作品って面白いな。教科書以外の作品も読んで、タブレットで感想文を書いてみよう。



織田信長や豊臣秀吉について学んだよ。他にはどんな戦国大名が活躍していたのかな。調べて、スライドにまとめてみよう。

また、指導者目線でも、家庭において ICT 端末を活用した学習に取り組ませることは、前述した内容を含め下記のような利点があります。

(1) 家庭学習を授業の一部と位置付けることで、授業時間を最大限に活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実を図ることができる。

(2) 児童生徒の家庭学習取組状況を容易に把握できる。

→それぞれの学校、教室で普段活用しているクラウドサービスを使って取り組ませることで、より簡単に家庭学習の取組状況を把握することができます。

(3) 臨時休業や不登校児の対応など、非常時や突発的な状況における学びの継続を円滑に行うことができる。

→ここ数年、悪天候や感染症の拡大などによる臨時休業が増えてきています。また、不登校や様々な病気で登校できないなど、個別の事情によりやむを得ず登校できない児童生徒も、各校で一定数いるのではないのでしょうか。日常的に ICT 端末を持ち帰り、家庭学習で活用する習慣があると、非常時や突発的な状況における学びの継続を円滑に行うことができます。

児童生徒が、目的や課題に応じた学び方を自己決定する力を育成するために、ICT 端末を活用した多様な学習方法を身に付けることは非常に大切です。また、児童生徒が目的意識をもち、自発的に学習に取り組もうとする意欲を育成する上で、授業と家庭学習を連動させることは極めて重要な意味をもちます。

ICT 端末を活用した授業と家庭学習の連動を今後一層推進していくことが、学びの質を高め、学び続ける児童生徒の育成につながります。次ページより、管内学校の家庭学習の取組を紹介させていただきますので、ぜひ参考にしてください。

ICT を活用した家庭学習の実践事例

洞爺湖町立洞爺中学校の実践 ～ICT×GIGA 洞中～

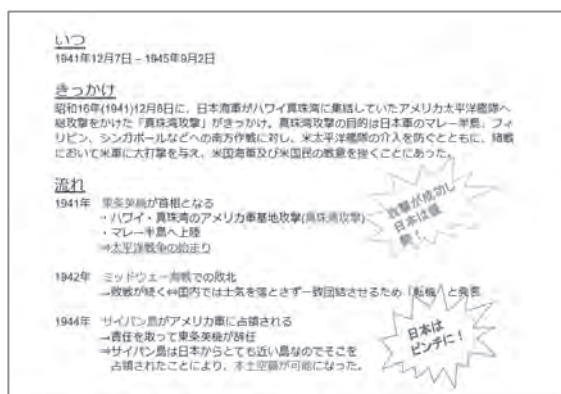
1 取組の概要

洞爺中学校では、令和5年度から Chromebook の持ち帰りを完全実施しています。段階的に紙から ICT を活用した家庭学習を増やすことで、主体的に学習し、確かな学力を身に付けた生徒の育成をねらいとしています。

2 ICT を活用した家庭学習の一例

(1) 社会科

社会科では、キーワードを提示して自分で調べてくる課題を提示し、調べてきたことを生徒同士で交流させています。

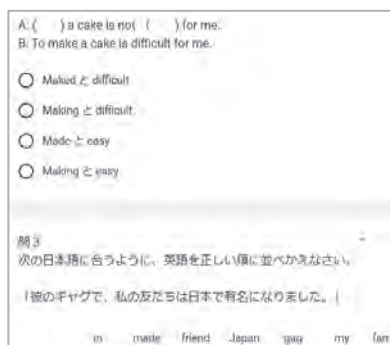


学習のメリット

- ①予習的な内容になっており、生徒はある程度理解した上で授業に臨むことができる。
- ②継続して取り組むことで、自分で調べる力や説明する力の向上が期待できる。

(2) 英語科

英語科では、Google アプリの Classroom に課題を投稿して家庭学習に取り組ませています。出題形式も、選択式や、発音を確認したりするものなど、多様な課題に取り組ませることが可能です。



学習のメリット

- ①課題に取り組んでいる状況を把握し、個別にメッセージを送ることが可能となる。
- ②個人の発音や音読を教師が何度も聴くことができ、指導の個別化ができる。
- ③生徒のファイリングや教師のプリント返却の手間が省け、プリントの紛失防止になる。

3 長期休業中の取組

長期休業中の学習計画表を、Google アプリのスプレッドシートを使って作成しています。スプレッドシートを使うことで、生徒の進捗状況を、休業中でも教師が確認して、必要に応じて声掛けすることができるようになりました。生徒の質問や問い合わせも Web 上で行うことができます。

2023 夏休宿題計画		目標 宿題は早めに終わらせて、部活と勉強の両立をする。 道コンなどの計画を立てる！																										
旅行・イベントなど																												
宿題・やること	7/22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	B/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	完了
(例)数学の学テ過去問 学習予定日...色付け 学習した日...チェック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
数学【e-board】 "文字式の計算(2年)"~ "1次関数の利用" ※ここから明けテスト！	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
英語【eboard】 ※どの単元をやるかは、別に 配付するスプレッドシートの通 りです！	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
英語【学カテスト過去問】 ※〇つけをしたものを回収 ※eboardと学テ過去問から『明 けテスト』実施	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
英語【音声と作文】 ※詳しくは、各学年の英語のク ラールームに配信します！見逃 さないように！	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
社会【eboard】 ※どの単元をやるかは、別に 配付するスプレッドシートの通 りです！	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
社会【時事問題レポート】 ※別紙の通り	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国語【漢字検定過去問】	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

提出課題欄。各教科
から提示されたものを
一覧で示している。

また、「eboard」を各教科でも長期休業中の提出課題や選択課題として提示しました。eboardの問題に対応したスプレッドシートに、進捗状況を記録できる学習記録表を作成したことで、教科毎に生徒の取組の様子を確認できます。

2	文字式の計算	文字式の利用	連立方程式	連立方程式の利用	1次関数
3	1式と次数	1等式の変形(xについて解く)	1連立方程式と解	1連立方程式の文章題(人	1一次関数
4	1	1			1
5	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>
6	2回次式かを考える	2等式の変形練習①			2
7	1	1			<input type="checkbox"/>
8	<input checked="" type="checkbox"/>	2			3
9	2	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>
10	<input checked="" type="checkbox"/>	3等式の変形練習②			4
11	1	1			5
12	<input checked="" type="checkbox"/>	2			<input type="checkbox"/>
13	2	4係数をそろえて解く			2一次関数と変化の割合
14	<input checked="" type="checkbox"/>	3			1
15	3	4文字式			2
16	<input checked="" type="checkbox"/>	4			3
17	4同類項をまとめる(式の加減)	5文字式			4
18	<input checked="" type="checkbox"/>	1			5
19	5分配法則を使った文字式の原				6
20	<input checked="" type="checkbox"/>				3一次関数のグラフ
21					4一次関数のグラフ 問題①

問題番号が eboard
の問題ページのリンク
になっている。

問題を解き終わったら
チェックをしていく。

登別市立登別小学校の実践 ～デジタル家庭学習取組シート～

1 取組の概要

登別小学校では、学校と家庭との連携による「家庭学習の質の向上」を目指し、学校独自で作成した「デジタル家庭学習取組シート」を活用した取組を、令和5年度2学期より開始しています。

2 家庭学習取組シートの内容

前述した「質の向上」のための必要な方策がとれるよう、取組率や取組時間の他に、取り組んだ学習内容、めあてと振り返りなどを「見える化」しています。これにより、児童は月ごとの学習取組状況をメタ認知し、現在地や学習傾向、課題をショートスパンで知ることができます。

2023年度 5月4年生			
日	曜日	取組内容	ひょうか 時間
1	月	漢字 計算	◎ 40分
2	火	漢字 音読	◎ 38分
3	水		×
4	木		×
5	金		×
6	土	ローマ字	○ 25分
7	日	音読 漢字 計算	◎ 50分
8	月	漢字 読書	◎ 32分
9	火	計算ドリル	× 24分
10	水	読書 漢字	◎ 30分
11	木	音読 計算	◎ 31分
12	金	読書	◎ 38分
13	土	ドリブラ漢字	◎ 30分
14	日	ドリブラ計算	◎ 45分
15	月	算数ドリル 漢字	◎ 40分
16	火		おやすみ
17	水	算数ドリル 漢字	○ 35分
18	木	算数ドリル 漢字	○ 28分
19	金	算数ドリル 漢字	○ 32分
20	土	ドリブラ計算 音読	◎ 50分
21	日	ドリブラ漢字	○ 40分
22	月	漢字	○ 30分
23	火	漢字 読書漢文	◎ 55分
24	水	漢字 算数ドリル	○ 40分
25	木	漢字 読書漢文	◎ 53分
26	金	漢字	○ 25分
27	土	ドリブラ音読	○ 30分
28	日		×
29	月		おやすみ
30	火	読書	◎ 30分
31	水	読書 音読	◎ 30分

5月1日-5月3日	めあて	GWは旅行に行くので、それ以外の日はしっかりやる。
	ふりかえり	めあてを達成できた。
	取組率	57%
	取組時間	153分
5月6日-5月14日	めあて	家庭学習のリズムを取り戻すために、毎日30分以上やる。
	ふりかえり	1日だけできなかった。
	取組率	86%
	取組時間	230分
5月15日-5月21日	めあて	算数ドリルを道のる。漢字も取り組む。
	ふりかえり	漢字の取組がやや遅くなってしまった。
	取組率	100%
	取組時間	225分
5月22日-5月28日	めあて	漢字を丁寧に書いて、読書を書き写す。
	ふりかえり	読書書くのに時間がかって、読まなかった。
	取組率	86%
	取組時間	233分
5月29日-5月4日	めあて	体調が悪いので、週の初めは無理をせず、読書をする。
	ふりかえり	目標達成できた。
	取組率	100%
	取組時間	60分

今月の日数	行った日	取組率	取り組んだ時間	行った日	平均時間
29日	24日	83%	90分	25日	36分
ポイント	達成日	家庭学習継続	よく出てきた学習内容		
39 P	6日	51 P	漢字 計算	ドリブラ	

当日高 (P)

取り組んだ時間 (分)

児童は以下の手順でシートに入力する。

- ①次週のためあて(週末)
- ②取組内容・ひょうか・時間(毎日)
- ③ふりかえり
- ④①に戻る

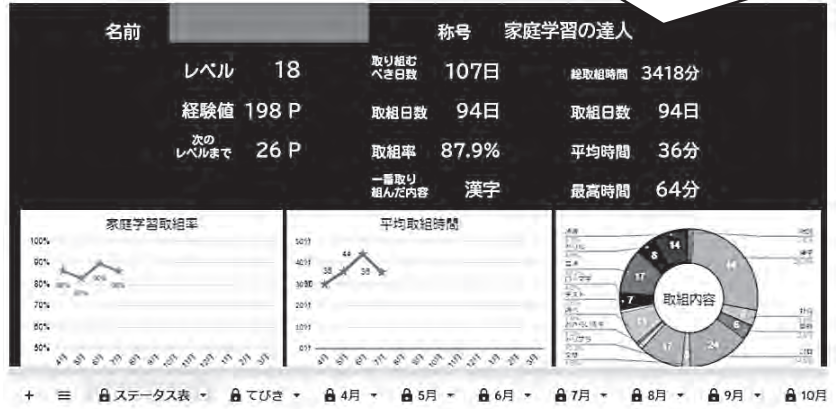
取組内容・ひょうか・時間を入力すると、この欄の学習取組状況が自動的に変動する。

家庭学習-宿題どちらにも取り組んで、めあてをたっせいできたら◎、どちらかしかやっていないかめあてがまだある◎、どちらもやっていない×、けっせきした◎おやすみ

取組状況により自動で数値や称号
が変化（レベルアップ）する。

また、家庭学習取組シートへの入力と連動させた「ステータス表」も作成しました。このステータス表では、年間での取組状況や学習傾向、課題をロングスパンで知ることができます。

ゲーム性を取り入れること（ゲーミフィケーション）により、児童が自分で学びを振り返り、意欲付けが図れるよう工夫しています。



3 チェックシートの活用

児童が「毎日とりあえず何かを家庭学習として出す」、教師はそれに対して「スタンプを押す」という、互いに行われる「作業」を止め、質の向上を目指す家庭学習を推進していくため、家庭学習取組シートと連動したチェックシートを活用しています。児童が一覧となって表示される、5日分遡って表示されるという特徴があり、家庭学習の提出がなくても、指導者は児童の取組状況を即座に確認することができます。

家庭学習内容記載チェックシート		2023/11/20(月)		から遡って5日分		から遡って5日分					
姓名	スプシ	2023	11	月	20	日(月)	11	月	19	日(日)	
1	かてー	しゅくだい	こくこ	◎	30						
2	かてー	しゅくだい	こくこ	◎	20		さんすう	まいこ	○	30	
3	かてー	しゅくだい	さんすう	◎	5			さんすう	◎	15	
4	かてー	しゅくだい	かん字	◎	10			さんすう	◎	5	
5	かてー	しゅくだい	ドリル(家のもの)	◎	55			まいこ	ドリル(家のもの)	◎	50
6	かてー	しゅくだい	かん字	○	15			しゅくだい	○	15	
7	かてー	しゅくだい	さんすう	◎	10				×		
8	かてー	しゅくだい	さんすう	○	10	ミス!			×		
9	かてー	しゅくだい	さんすう	○	10	?			×		
10	かてー	しゅくだい	けいさん	◎	10			かん字	◎	10	
11	かてー	しゅくだい	さんすう	◎	10			タイピング	×	20	
12	かてー	しゅくだい	さんすう	◎	140				×		
13	かてー	しゅくだい	さんすう	○	90			しゅくだい	さんすう	◎	35
14	かてー	しゅくだい	さんすう	◎	15			ドリル(家のもの)	さんすう	○	15
15	かてー	しゅくだい	さんすう	◎	15			しゅくだい	こくこ	×	10
16	かてー	しゅくだい	さんすう	○	10			さんすう	○	5	

上のシートでは、取組が入力されていない場合は「?」、◎・○・△を入力しているのに学習内容と時間が入力されているようであれば、「ミス!」と表示される仕様になっている。

下は、めあてと振り返りが記載されているか調べるためのシートとなる。入力されていないと、セルの色が消えないので、入力していない児童がひと目でわかる。

姓名	11月6日・11月12日のめあて	11月6日・11月12日の振り返り
1	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。
2	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。
3	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。
4	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。
5	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。
6	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。
7	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。
8	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。
9	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。
10	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。
11	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。
12	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。
13	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。
14	毎日10分は必ずやる。	毎日10分は必ずやる。

個別最適化された家庭学習の実践事例

ICT 端末を活用した家庭学習の有効性については前述した通りですが、持ち帰りにあたっては、各家庭の通信環境状況や、利用に当たってのルールづくりなど、様々な課題があります。また、セキュリティ上の理由等から、学校単位での実施が困難なケースもあります。

そこで、ここでは、ICT 端末を使わずに家庭学習で個別最適な学びを実現する取組を紹介します。

伊達市立伊達小学校 6 学年の実践 (市嶋 広恵先生、藤井 涼介先生、佐藤 寛太先生)

「学習計画表」を活用した家庭学習（自主学習）の取組です。

日常的に家庭学習を推奨する中で、学習計画表を活用した取組を年に数回実施することで、児童一人一人が目的意識をもち、主体的に取り組む力を育成することをねらいとしています。

<取組のポイント>

- ①最初に「今回のポイントは～」と取組の目標を示す。授業や学校での取組と連動させることで、児童に目的意識をもたせるとともに、意欲付けを図ることができる。
- ②1 回の取組期間は 1 週間～10 日程度。短期間で設定することでメリハリが生まれ、児童の集中力や意欲を引き出すことをねらいとしている。
- ③計画を立てることが苦手だったり、どんな学習に取り組めば良いかわからなかったりする児童のために、「予習でやることリスト」として学習例を示している。

毎日 70 分以上机に向かうことを基本として、習い事や家庭の都合と照らし合わせながら計画を立てて実践する力を育てていきます。

運動会シーズンだけど家庭学習も両立しよう
家庭学習計画表

組 番 名 前

目標

今回のポイントは

☆大きな行事をひかえている中でも時間を
やりくりして予習・復習を続ける力を付ける！

予習でやることリスト

- ①学びの地図や時間割を確かめ、次の時間の授業内容の教科書を読む。
- ②わからない問題にチェックしておく。
→授業で質問したいことをしぼっておけるよ。
- ③わからない言葉の意味を辞書で調べておく。



大きくても30センチほどのヤマメと、その倍もあるサクラマスが、もともとは同じ魚だということをご存じですか？

川での生存競争に敗れたヤマメの一部が、餌を求めて海へと下り、餌が豊富な海を回遊するうちに大型化したのがサクラマスなんだそうです。

そのときは負けたように思えても、自分で自分に見切りをつけなければ、人生に「負け」なんてものは存在しません。

人と競うのではなく、できることから少しずつ努力を重ね、昨日の自分よりちょっとだけでも成長しようと心がける。

そうすれば、いつの間にか、サクラマスのようにグリーンと大きくなっているはずですよ。

- 斎藤茂太 -
(日本の精神科医、随筆家)



月 日	取り組む予定の教科・内容 (分)	勉強した時間	取り組んだ結果
6/7 水	()		A B C D
6/8 木	()		
6/9 金	()		
6/10 土	()		
6/11 日	()		
6/12 月	()		
6/13 火	()		
6/14 水	()		

振り返り

お家の方から一言お願いいたします。

3 個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて（Q&A形式）

Q. なぜ、個別最適な学びと協働的な学びが必要なのでしょうか。

平成 29 年告示の学習指導要領前文には、児童生徒に育むべき資質・能力として、次のように示されています。

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

平成 29 年告示 学習指導要領前文より抜粋

これらの資質・能力の育成のため、個別最適な学びと協働的な学びが必要であり、それぞれの学びを一体的に充実させる授業づくり・授業改善が求められています。

「令和 3 年度 研究紀要 第 235 号」内で特に詳しく説明しておりますので、この機会に改めてご確認ください。（右の QR コードからご覧になれます。）



令和 3 年度 研究紀要

Q. 以前から行われてきた「個に応じた指導」や「学び合い」と「個別最適な学び」「協働的な学び」は、どこが違うのでしょうか。

「個に応じた指導」は教師側からの視点となり、それを学習者の視点から整理した概念が、「個別最適な学び」となります。指導方法や指導体制の工夫改善により、平成 29 年告示の学習指導要領においては、より一層の充実が求められています。

「学び合い」については、これまではペアやグループなどを教師側が指示して話し合わせるなど、教師主導の側面が強いものでした。対して、「協働的な学び」においては、児童生徒が自ら選んだり決めたりすることで行われます。

つまり、「個に応じた指導」や「学び合い」は、個別最適な学習や協働的な学習においても行われますが、違いは主体がどこにあるのか、ということです。これからの学習活動の中では、児童生徒が主体となって行われることが重要であり、指導者はそれを踏まえて授業を計画していく必要があります。

Q. 個別最適な学びとはどのようなものですか。

個別最適な学びは、「指導の個別化」と「学習の個性化」の2つに分けることができます。

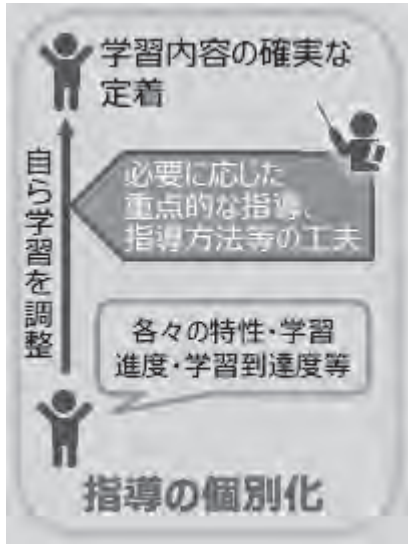


図1

「指導の個別化」とは、一定の目標の達成を目指す中で、児童生徒が自分に適した学び方、学ぶ内容を選択して学習を行うことです。

教師も、児童生徒それぞれに合った学習の進め方を考え、多様な教材・時間・方法等の提供を工夫していきます。

一例として、次のような学習が考えられます。

- ・算数・数学科の授業において、一斉指導後、習熟度に応じた内容、分量の問題に取り組む。
- ・理科の授業において、個々で異なる実験方法を試す。
- ・多様な場が用意された体育の跳び箱で、習得を目指す技の練習をする。

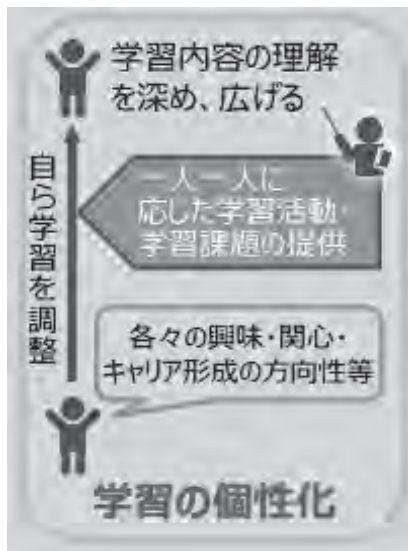


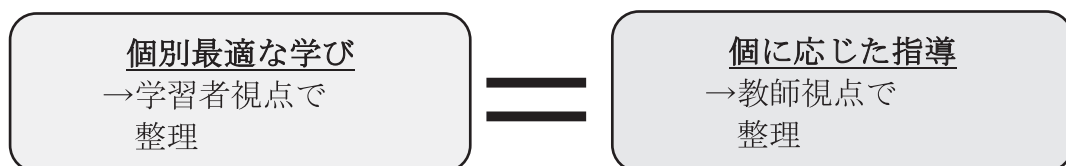
図2

「学習の個性化」とは、児童生徒の興味・関心等に応じた異なる目標に向けて、学習を深め、広げていくことです。その中で、児童生徒自身が自らどのような方向性で学習を進めていったらよいかを考えることも含まれます。

教師は、児童生徒の学習が最適になるように、学習活動や学習課題を複数用意し、選択できるようにします。

例としては、総合的な学習の時間における課題設定学習（自分で課題を設定し、調査方法を決め、自分の方法でまとめ、発表する）などが挙げられます。

指導の個別化と学習の個性化を教師視点から整理した概念が「個に応じた指導」であり、個に応じた指導を学習者視点から整理した概念が「個別最適な学び」となります。



※図1・2 文部科学省「令和の日本型学校教育」における学びのイメージ（たたき台）より

Q. 協働的な学びとはどのようなものですか。

協働的な学びとは、子供同士、地域の人々など、多様な他者を価値ある存在として尊重し、協働することでより良い考えや学びを生み出すことです。

個別最適な学びが孤立した学びに陥らないようにするために、また、一人では学びきれないことを補うためにも、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた授業づくりが大切です。

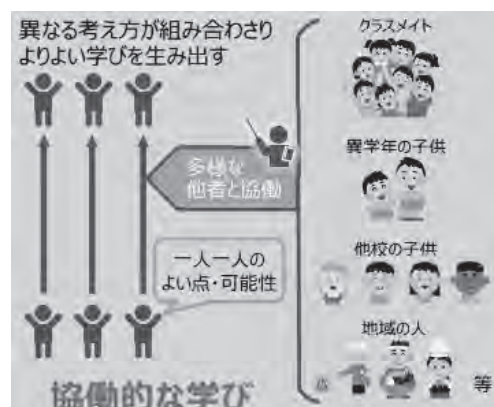


図3

GIGA スクール以前は、協働する対象がクラス内の子供同士に限定されることが多かったのですが、ICTの導入により、空間的・時間的な制約を超えた他者との関わり合い、学び合いが可能となりました。

教師は、児童生徒が自ら選択したり決定したりして、主体的に協働的な学びに取り組めるよう、ICTをはじめとする学習環境を整えることや、話し合いたいと思えるような雰囲気、関係づくりに努める必要があります。

※図3 文部科学省「令和の日本型学校教育」における学びのイメージ（たたき台）より

Q. 個別最適な学びのために活動や課題を複数用意したり、多様な学び方で学習したりした場合、どう評価していけばよいでしょうか。

個に応じた指導で大切なことは、児童生徒一人一人がどのように取り組んでいるのかをしっかりと見取ることです。何を理解し、何につまずいているのかを見取り、次の学習を構想していく授業改善の取組が評価につながっていきます。

課題に対して多様な学び方、取り組み方を行う個別最適な学びの様子をしっかりと見取ったり、適切な指導や支援を行ったりするための有効なツールとして、「ルーブリック」を紹介します。ルーブリックとは、学習到達度を示す評価基準を、観点と尺度からなる表として示したものです。これを児童生徒に理解できる言葉に置き換えて、授業の際に明確に示すことで、以下のことが可能となります。

- ・児童生徒が自分に合った学び方や目標を選択することができる。
- ・児童生徒がより高みを目指そうとする意欲につながる。
- ・児童生徒の選択を把握することで、教師はその子に応じた適切な指導、支援を行うことができる。
- ・評価基準が可視化されることで、評価に妥当性や納得感が生まれる。

下の図は、北見市立三輪小学校教諭 塩谷直大先生が作成した、ループリックの例です。

児童には、最初に4つのコースからそれぞれ到達したい目標を選ばせることで、学習活動が明確になります。途中でさらに高い目標に変更する場合も考えられます。

指導者は、児童の選択に合わせた適切な指導が行えます。児童の到達度も明確になることから、評価にも大いに役立ちます。

塩谷先生には、本研究所が令和5年度に開催した夏季講座研修「個別最適な学びと協働的な学びを効果的にする ICT・端末の活用」において、講師としてご講演いただき、その中でループリックについても詳しくご説明いただきました。本研究所のホームページに講演内容の概要がまとめてありますので、ぜひご覧ください。(右のQRコードからご覧になれます。)



令和5年度
夏季研修講座のまとめ

ループリックの例 (北見市立三輪小学校 塩谷 直大先生作成)

課題 俳句を解釈したり、イメージしたりしよう

自分のゴール (今日はここまで行きたい)				
	音読コース	読み取りコース	絵コース	画像コース
Aランク	一人で10回音読する。	ノートに俳句を書き写す。	俳句を絵で表す。	俳句に合う画像を検索する。
AAランク	3人の友達に音読を聞いてもらう。	この俳句の季語と季節をノートに書く。	ぼぼとは何か説明を書き加える。	ぼぼとは何か説明を書き加える。
AAAランク	塩谷先生の暗唱テストで合格する。	朝・昼・夕方・夜のどの時間帯か?自分の考えと理由をノートに書く。	絵と説明を先生に見てもらう。(ジャムまたノート)	画像と説明を先生に見てもらう。(ジャム)
Sランク		上の考えと理由を友達3人に説明する。	黒板に絵や説明を書いて、みんなに説明する。	画像や説明をスクリーンに映してみんなに説明する。

たんぽぽのぼぼのあたりが火事ですよ

コラム：これからの教師に求められる資質・能力とは

これからの時代を生き抜くために必要な児童生徒の資質・能力を育むために、我々教員にはどのような資質・能力が必要となるのでしょうか。「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）の中では、次のように述べられています。

9. Society5.0 時代における教師及び教職員組織の在り方について

(1) 基本的な考え方

- 教師に求められる資質・能力は、これまでの答申等（中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」（平成27（2015）年12月21日）等）においても繰り返し提言されてきたところであり、例えば、使命感や責任感、教育的愛情、教科や教職に関する専門的知識、実践的指導力、総合的人間力、コミュニケーション能力、ファシリテーション能力などが挙げられている。

この中の「ファシリテーション能力」に注目してみましょう。ファシリテートには、行動や過程などを促進する、容易にする、助長するという意味があり、それを行う人のことをファシリテーターと言います。個別最適な学びや協働的な学びを実現していく上では、ファシリテート能力が大変重要です。

従来型の教育は、体系化された知識や技能を児童生徒にしっかり定着させる役割がその大半を占めていました。ファシリテーターの役割としては、児童生徒の興味・関心や主体性を重視し、新たなアイデアや問題解決策を発見していけるような環境づくりや、児童生徒が自ら学ぶことを促す行為が主となります。具体的には、次のようなものが考えられます。

○児童生徒がどのような学習をするのか、授業をデザインする。

- ・ 学習計画や授業の流れを共有する。
- ・ 学ぶ意欲を喚起したり、選択したりできる教材・教具を準備する。 など

○児童生徒の学習の様子をよく観察する。

- ・ 一人ひとりが安心して対話できる場、環境をつくる。
- ・ 話を傾聴したり、問いかけたりすることで、考えを整理させる。
- ・ 学習の様子をよく見取り、適宜声掛けをする。（悩んでいる児童生徒に対して・学び合いを深めるために・学習を促進するために…） など

トップダウンの教育から、ボトムアップの教育へ。知識や解決策を教える「ティーチャー」としてだけでなく、児童生徒の主体的な学びを促進していく「ファシリテーター」へ。教師に求められる資質・能力もまた、変化してきているのです。

Ⅲ 研究のまとめ

3年間の研究を振り返って

今年度は、研究主題「個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり」の3年次（最終年次）として、「ICTを効果的に活用した個別最適な学びと協働的な学び」「授業と家庭学習の連動」「個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて（Q&A形式）」についてまとめました。

3年間の成果と課題には、以下の点が挙げられます。

<成果>

- ・個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指した授業づくりについて、理論研究の基礎・基本から、実践事例、家庭学習との連動など、多岐に渡って情報を発信することができた。
- ・本研究所の調査課題研究（令和3年度「ICT器機の効果的な活用に関する調査」および令和5年度「個別最適な学びと協働的な学びを推進するためのICTの活用について」）と連動させることにより、管内のICT活用に関する実態を把握した上で、ICTの効果的な活用について情報を発信することができた。
- ・個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指した、管内の優れた授業実践を多数紹介することができた。

<課題>

- ・今後も個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指した授業改善において、胆振管内の共通認識を図るため、随時情報発信をしていく必要がある。
- ・「教師が教える授業」から「児童生徒が自ら学ぶ授業」への転換を目指し、教師の意識の変革を呼びかけていく必要がある。

◆参考文献・資料一覧

- ・学習指導要領（平成 29 年告示）、学習指導要領解説（文部科学省）
- ・「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）（文部科学省）
- ・佐々木潤「個別最適な学び×協働的な学び×ICT 入門」（2022 年 明治図書）
- ・奈須正裕「個別最適な学びと協働的な学び」（2021 年 東洋館出版社）
- ・初等教育資料 No. 1014
- ・ICT 端末を活用した家庭学習の手引（令和 5 年 6 月 北海道教育委員会）
- ・ICT を活用した家庭学習のススメ（令和 5 年 4 月 群馬県教育委員会）
- ・家庭学習と授業を連動させた 1 人 1 台端末の活用（令和 4 年 岡山県教育委員会）
- ・徹底解剖！個別最適な学びと協働的な学びって、なに？（兵庫教育大学 HP）
- ・特別支援教育で ICT を活用しよう（国立特別支援教育総合研究所）

◆研究・執筆

役職名	氏名	所属学校	職名
所 長	野 崎 均	登別市立緑陽中学校	校 長
副 所 長	花 田 啓 光	伊達市立伊達小学校	校 長
事 務 局 長	高 橋 賢 治	登別市立鷺別小学校	主幹教諭
事務局次長	白 井 賢 司	伊達市立伊達中学校	主幹教諭
所 員	渡 辺 隆 之	伊達市立伊達小学校	主幹教諭
所 員	永 井 久	登別市立緑陽中学校	主幹教諭
所 員	藤 田 佳 嗣	伊達市立光陵中学校	教 諭
所 員	甲 谷 健	伊達市立東小学校	教 諭
所 員	中 村 章 人	登別市立登別小学校	教 諭
所 員	黒 川 知 恵	白老町立白老小学校	教 諭
事 務 職 員	水 留 恵美子	胆振教育研究所	

◆あしがき

昨年の11月から1月にかけて、大リーグ、ドジャースに在籍する大谷翔平選手から、全国の小学校にグローブが贈られるというニュースがあったことをご存じだと思います。私が勤務する小学校にも1月の中旬、3つのグローブが届きました。そこには1通の手紙が添えられていました。一部抜粋して紹介します。

私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれるスポーツだからです。

野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

野球しようぜ。

大谷翔平

「野球しようぜ」—短いながらも思いが凝縮され、直接子どもたちに呼びかける力強いメッセージです。このメッセージを聞き、実際にグローブに触れることで、日本全国で野球やスポーツに対する関心が一層高まることでしょう。子どもたちの心を大きく変える素晴らしい行動だと感じました。

さて、本研究所では今年までの3年間「個別最適な学びと協働的な学び」について研究を行い、情報発信を行ってまいりました。私自身それに携わる中で、「教師が教える」のではなく、「子ども自らが学ぶ」という、学びの主体は子どもにあることの大切さを学びました。大谷翔平というスーパースターには遠く及びませんが、せめて目の前の子どもの学びの意識を変えるために、まずは自分自身の指導の意識を変えることが必要だと強く感じているところです。

主体的・対話的で深い学びの実現に向け、各校でも日々苦勞しながら授業改善が推進されていることと思います。3年間の研究の集大成となる本書が、その一助となれば幸いです。

担当所員 渡辺 隆之

令和5年度 研究紀要 第241号

《研究主題》

個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり
～3年次～

発行年月日 令和6年3月1日

発行 胆振教育研究所

代表者 所長 野崎 均

印刷 (有)村上印刷

